

独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)
令和4年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
事例紹介（以下のスライドはすべて当日行った口頭報告の
補助資料である）

地域と世界をつなぐグローバル人材への キャリア教育

新潟大学 留学センター&キャンパスライフ支援センター
キャリア・就職支援オフィス&日本酒学センター
准教授 蒙 韞 (韞) (MENG Yun)

E-mail: mengyun@ge.niigata-u.ac.jp

URL : <https://www.career-center.niigata-u.ac.jp/>

本日の流れ

1.学内外の連携

2.具体的な教育内容・方法

3.教育効果

4.今後の予定や課題

1.学内外の連携

◇学内の連携

- 留学センター
- キャンパスライフ支援センター キャリア・就職支援オフィス
- 日本酒学センター

◇学外の連携

- 日本貿易振興機構 (JETRO)
- 公益財団法人 環日本海経済研究所 (ERINA)
- 新潟県酒造組合と新潟県の酒造メーカー
(朝日酒造株式会社、八海醸造株式会社)
- 新潟県の製造企業
(hakkai株式会社)

2.具体的な教育内容・方法①

☆全学向けの国際共修科目（外国人留学生と日本人学生）

<第一学期：週一 90分>

「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA」

<第二学期：週一 90分>

「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB」

☆地域と世界をつなぐ産官学連携のレクチャーとワークショップ^o

<第一学期>

1)朝日酒造株式会社(2021年6月17日と24日 2回)

2)公益財団法人環日本海経済研究所(ERINA)(2021年7月1日)

<第二学期>

3)八海醸造株式会社(2021年11月11日と18日 2回)

4)hakkai株式会社(2022年1月27日)

2.具体的な教育内容・方法②

☆受講生

<第一学期> 「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA」

合計14名：外国人留学生7名と日本人学生7名

<外国人留学生>

【出身】ヨーロッパ1名／東アジア3名／東南アジア3名

【性別】男性2名／女性5名

【学年】学部2年生1名／学部3年生2名／学部4年生4名

【文系・理系】文系7名

【学生身分】正規生1名／交換留学生6名

【日本語レベル】日本語能力試験N1合格者2名／N2合格者3名／N3合格者2名

<日本人学生>

【出身】新潟県内1名／新潟県外6名

【性別】男性3名／女性4名

【学年】学部1年生1名／学部2年生5名／学部3年生1名

【文系・理系】文系6名／理系1名

【学生身分】正規生7名（社会人入学1名）

【英語レベル】英検2級合格者5名／準2級合格者1名／3級合格者1名

2.具体的な教育内容・方法③

☆受講生

<第二学期> 「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB」

合計16名：外国人留学生6名と日本人学生10名

<外国人留学生>

【出身】 東アジア6名

【性別】 男性1名／女性5名

【学年】 学部3年生4名／学部4年生2名

【文系・理系】 文系6名

【学生身分】 交換留学生6名

【日本語レベル】 日本語能力試験N 1 合格者2名／N2合格者3名／N3合格者1名

<日本人学生>

【出身】 新潟県内2名／新潟県外8名

【性別】 男性5名／女性5名

【学年】 学部1年生6名／学部2年生3名／学部4年生1名

【文系・理系】 文系6名／理系4名

【学生身分】 正規生10名

【英語レベル】 英検2級合格者8名／準2級合格者1名／検定なし1名

3.教育効果①

◎ 授業全体の評価方法、履修生の変化・成長とそれに関する面談

1)主観的評価

<担当教員からの評価>

①チームの一員としての参加度・貢献度：20%

②チームワークの成果：40%

③課題：20%

④期末レポート：20%

<受講生からの自己評価>

上記③と④の中の振り返り

2)客観的評価：BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) という客観的測定テストを用いて学期開始 (T1) と終了時 (T2) に計2回測定、履修生は各自のBEVI結果を確認し、担当教員は個人を特定できないクラス全体のBEVI結果を確認した。

3)履修生の変化・成長とそれに関する面談

2)の各自のBEVI結果を参考にして面談を行った。

3.教育効果②

◇BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) とは

1990年代初頭から、米国 Craig N. Shealy教授を中心に開発され、
「**誰が、何を何故またどのような状況で学習したのか**」を客観的に測定することが可能とされているテストである。
このテストは、また、異文化間能力を含む自己 (Self) 全体を測定することが可能であり、確立した臨床心理学・心理統計学の理論を基盤としている。

※本発表ではBEVIと表記しているが、実際には、2017年に広島大学が開発した日本語版のBEVI-j (<https://jp.thebevi.com/>) を指す。

【BEVIホームページ (日本語)】

<https://jp.thebevi.com/>

【BEVI紹介動画 (英語)】

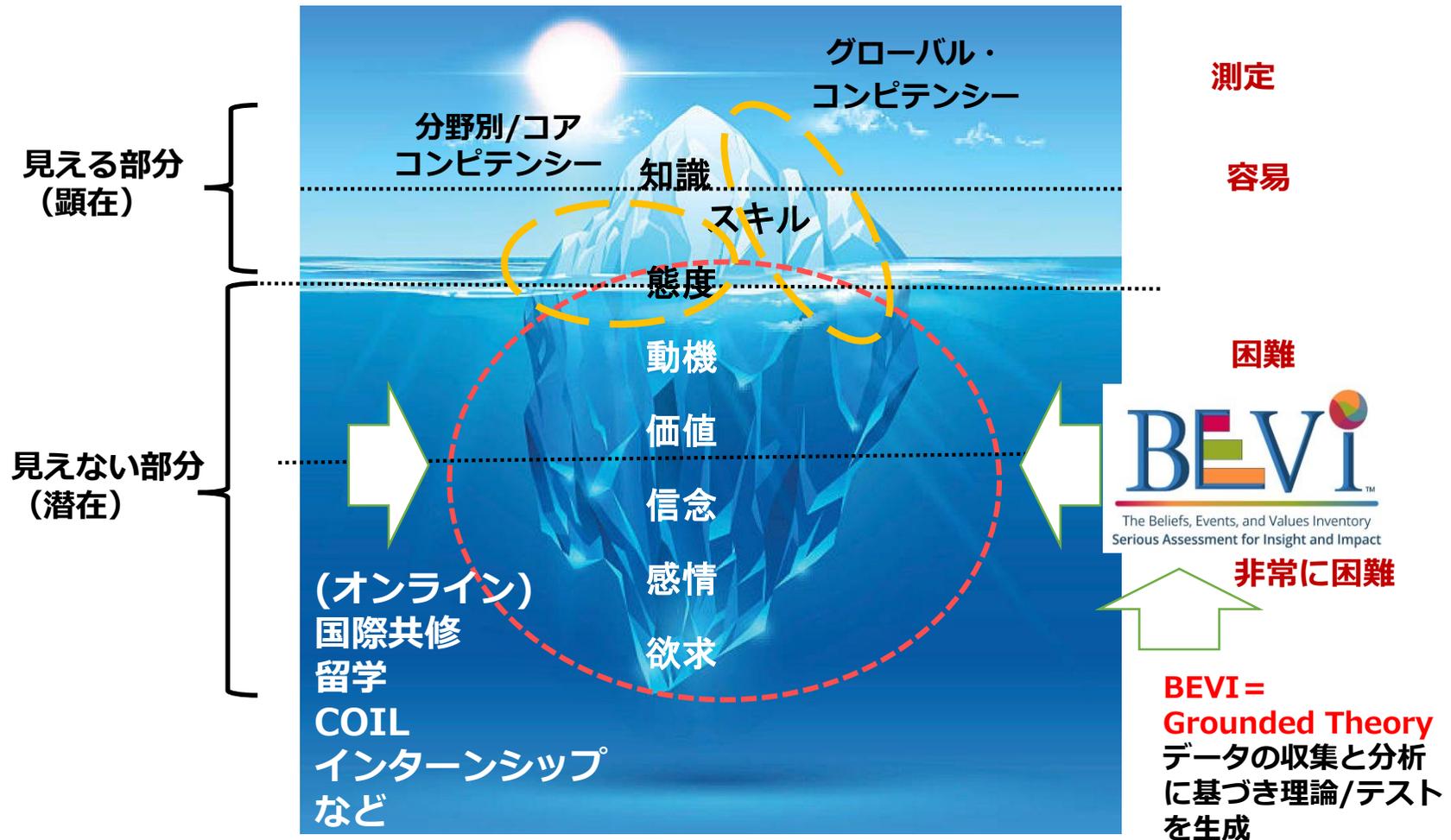
www.YouTube.com/watch?v=m1WpgYWh7WE

3.教育効果③

コンピテンシーの冰山モデル

(ハーバード大学 D.C.マクレランド教授 行動科学研究者)

出典：西谷（2020）



3.教育効果④

コンピテンシーの定義

出典：西谷（2020）

コンピテンシーのなりたち

コンピテンシーの概念は、ハーバード大学の行動科学研究者であるD.C.マクレランド教授とマクバー社の研究から見出されました。

「**学歴や知能レベルが同等の外交官（外務情報職員）が、なぜ開発途上国駐在期間に業績格差がつくのか？**」

という調査依頼を米国国務省から受けたことから、研究が始まります。

マクレランド教授らの研究の結果、「**業績の高さと学歴や知能はさほど比例することなく、高業績者にはいくつか共通の行動特性がある**」ということが見出されました。この研究がコンピテンシーの始まりとされています。

コンピテンシーの『冰山モデル』

さらにマクレランド教授は人の**行動の目に見える部分**である「**スキル、知識、態度**」と、**目には見えない「動機、価値観、行動特性、使命感**」が存在することを見出しました。

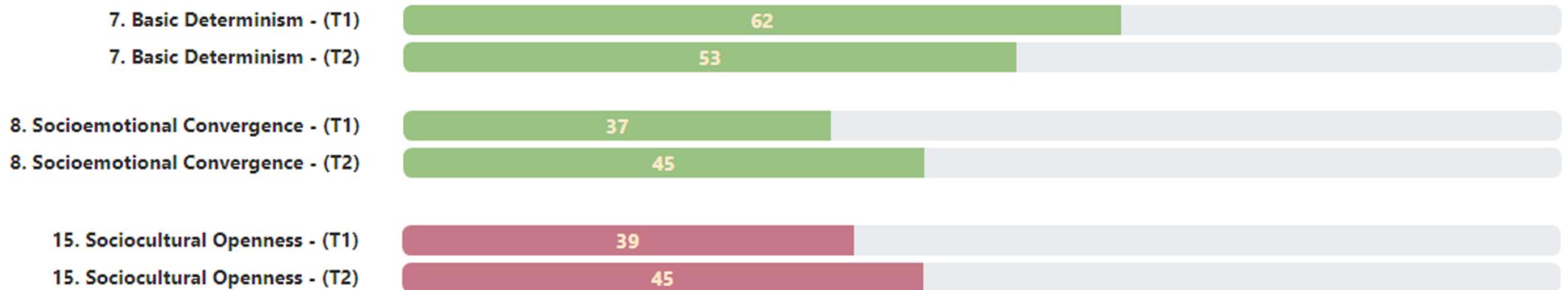
高業績者の行動を生んでいるのは、目に映る部分だけではなく、**目には見えない部分の影響が大きい**ことが明らかにされます。行動の目に見える部分は氷山の一角であり、実際に冰山を動かしているのはその水面下の大きな部分だという考え方です。

この考えは『冰山モデル』と呼ばれ、**コンピテンシー理論の基礎**となっています。

3.教育効果⑤

<第一学期> 「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA」

客観的測定テストBEVIの結果から分かったこと（履修生の全体）



以下の尺度は、学期前後における成長が見られた：

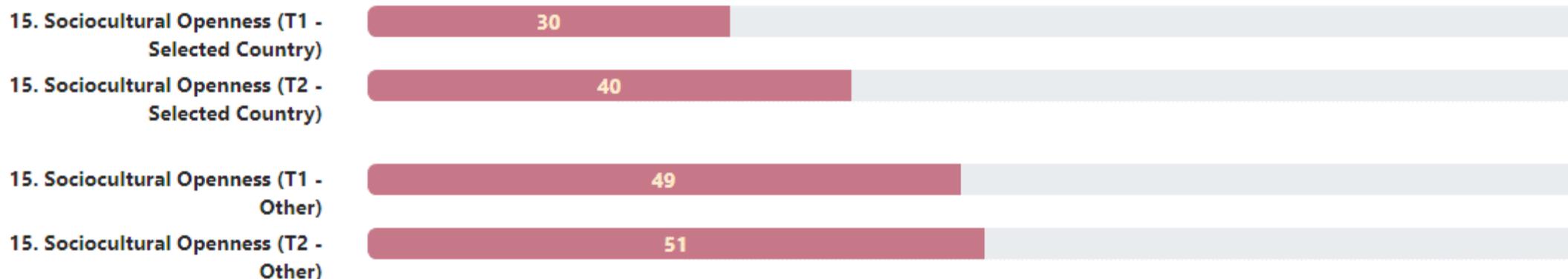
- ① **コミュニケーション能力**に関わる批判的思考力・柔軟性：
尺度7「Basic Determinism（決定論・必然論的性向）」
尺度8「Socioemotional Convergence（社会・情動の理解）」
- ② **異文化対応力**：
尺度15「Sociocultural Openness（社会文化的オープン性）」

⇒ **受講生6名と面談した結果、上記の成長を促した要因として、本授業の影響が大きいことが判明した。**

3.教育効果⑥

<第一学期> 「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA」

客観的測定テストBEVIの結果から分かったこと
(外国人留学生と日本人学生との差)



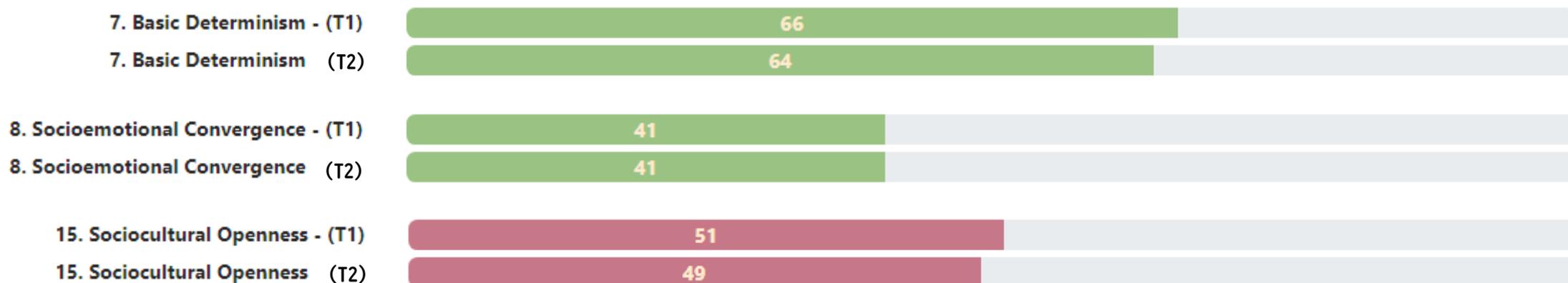
異文化対応力：

授業開始前、日本人学生(30)に比べて外国人留学生(49)のほうがより高いが、その成長は外国人留学生(49→51)に比べて日本人学生(30→40)のほうがより大きい

3.教育効果⑦

<第二学期> 「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB」

客観的測定テストBEVIの結果から分かったこと（履修生の全体）



以下の尺度は、学期前後における成長が見られなかった。

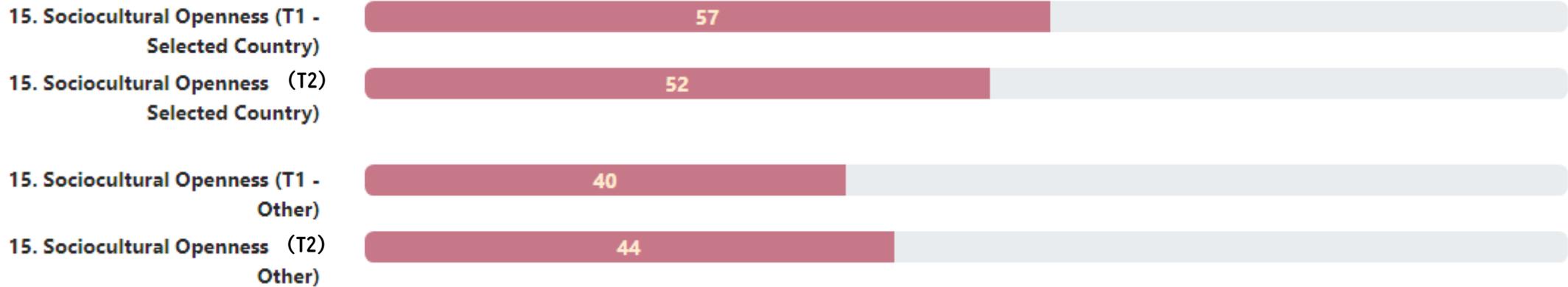
- ① **コミュニケーション能力**に関わる批判的思考力・柔軟性：
尺度7「Basic Determinism（決定論・必然論的性向）」
尺度8「Socioemotional Convergence（社会・情動の理解）」

- ② **異文化対応力**：
尺度15「Sociocultural Openness（社会文化的オープン性）」

3.教育効果⑧

<第一学期> 「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB」

客観的測定テストBEVIの結果から分かったこと
(外国人留学生と日本人学生との差)



異文化対応力：

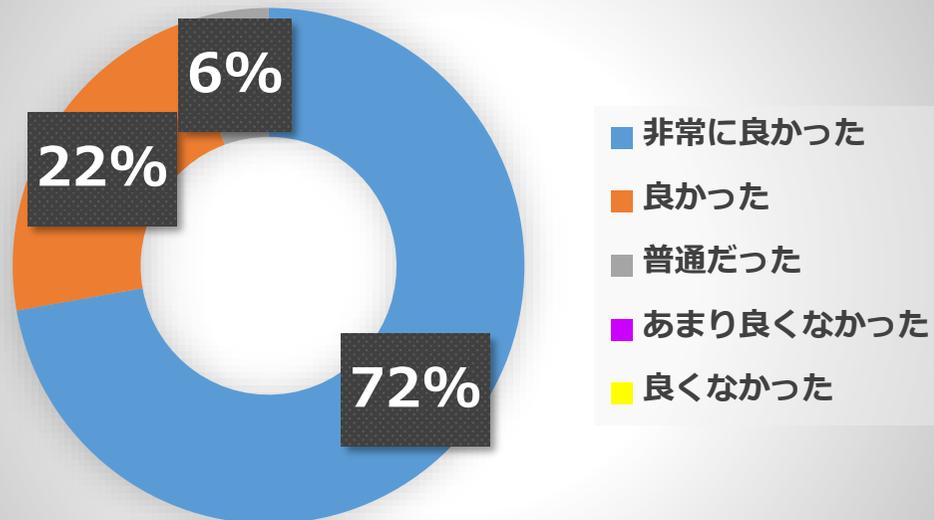
授業開始前では、日本人学生(57)に比べて外国人留学生(40)のほうが相対的に低いが、

授業終了時では、外国人留学生(40→44)は成長している傾向が見られたのに対して、日本人学生(57→52)は下がった。

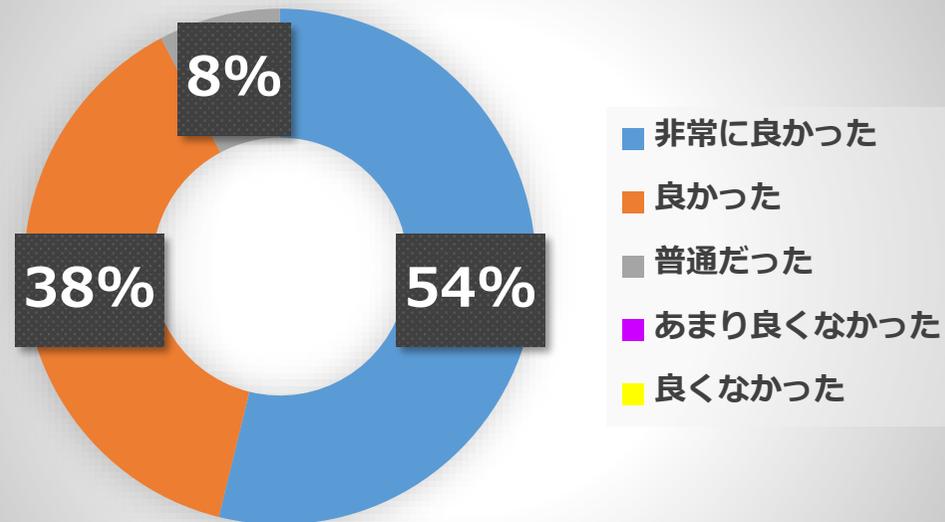
3.教育効果⑨

受講生の満足度

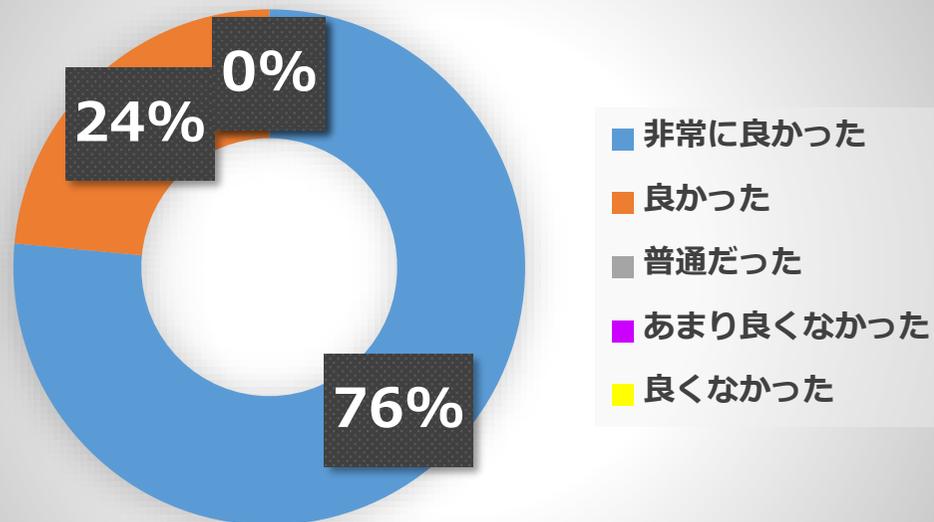
朝日酒造様



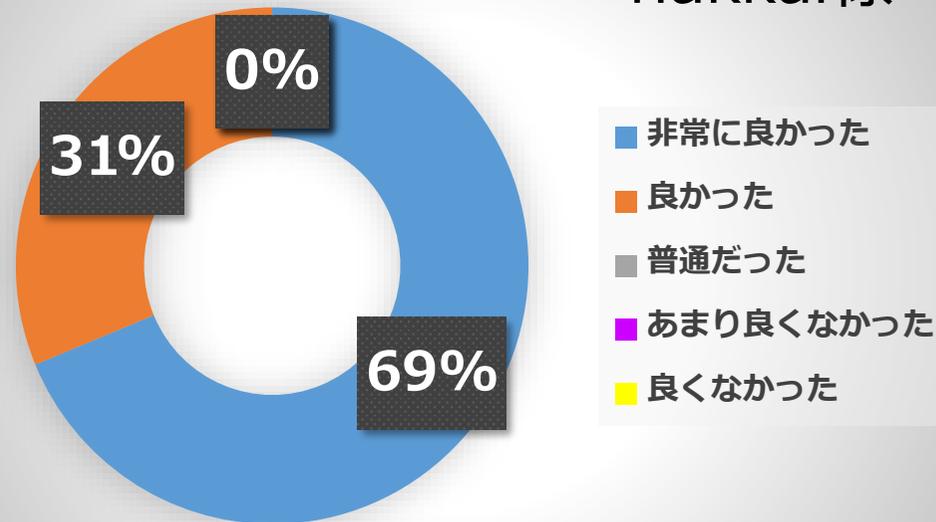
ERINA様



八海醸造様



hakkai様



3.教育効果⑩ 役に立ったこと・今後活用できること

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります。

☆朝日酒造様のレクチャーとワークショップ

【外国人留学生】

- Yes, from this learning, I can do very well in Nomunication (Nomu + communication). Moreover, I can be refrained from the things we should not do in Sake drinking.
- 日本酒について色々勉強ができて日本酒エチケットも学ぶことができました。
- ①I've recieved a great introduction into sake.
②The English level of the presenters from Asahi was very high and easy to understand.
③The Interactive parts of the presentation helped giving the whole class some life.
- 日本酒の市場のところでは、てっきりアジア国の方が市場が多いと思ったが、逆に欧米のほうが大きいです。ですから、自分が予想したことはいつもそうではなく、柔軟に視野を広くすることが必要と分かりました。
- ①It was so good to have group work with students from another universities.
②I like the explanation about sake. Making it was interesting and I want to try sake.
③what I like the most is the show about sake manners.
- 日本酒の種類、生産過程、市場を詳しく説明していただいた。

【日本人学生】

- Knowing the environment in which people can work internationally, even if they are not in a foreign-affiliated company. In the future, I would like to find out about the working styles of companies that convey Japanese culture overseas.
- ある視点で物事を見たり、考えたりすることは大事なため、朝日酒造様のような企業から説明を受けることは、大変良かったと思います。日本酒という日本のアイテムが世界でどう受け止められているのか、また日本の文化とどう絡めて発信しているのか、もしくは発信していく予定なのか等、身近な企業からの話は参考になりました。
- お酒をどのようにして海外にアピールしていくのかを考えたとき、英語で海外の人と意見を交換できたのが、視野を広げるという意味で非常に役に立ちました。
- 日本酒の現状やこれからについて考えることで新潟の良さを知ることができました。
- 地元企業の国際展開を知ることができ、朝日酒造の方々の英語力に驚いて英語の勉強を改めてやらねばと思えた。

3.教育効果⑪ 役に立ったこと・今後活用できること

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります。

☆ERINA様のレクチャーとワークショップ

【外国人留学生】

- ・新潟県の産業、新潟県の会社について学びました。自分がどんな仕事を目指せばいいかもっと分かりました。
- ・ベトナムへ進出した新潟県のグローバルの情報が自分にとって役に立つと思います。そもそも日本に就職したいですが、長期留学生ではないから、どこから始めるか漠然です。今回、得た情報は将来の就職活動のヒントになると思います。
- ・①新潟県の産業構造がわかりました。
- ・②外国人留学生が卒業して日本に残る人数が分かりました。
- ・③新潟県の産業を外国人に広める方法を学びました。
- ・新潟で就職を希望している友人たちも本レクチャーの情報などを共有していきたい。
- ・①日本の企業、特に新潟の企業について、詳しく知ることができました。
- ・②グループワークもできて、日本の企業を紹介するためにどのようなことをしたらいいか、グループで考えることができました。それぞれの意見に〇〇さんのコメントもあったのは良かったです。
- ・日本で就職する時、会社に求められることを知った。中国でも必要なものを考えて今後の就職に生かそうと考えている。

【日本人学生】

- ・新潟の企業を知る機会はあまりなかったため、今回はとてもよい機会だったと思います。上位プレイヤーの企業が多いことは、今後の発展や成長が期待が出来る上、動向にも目が離せないと思います。企業勉強をしていく中で、知らなかった企業を知ることにより、業界のことや世界的な企業を調べる良い機会であり、今後に生かせればと考えます。
- ・将来どこで働くべきかを考えるのに非常に役に立った。就活で働きやすい場所を見つけるという点で活かしていきたい。
- ・就職する際に、どこの地域にどの産業が集中しているのかを考えていきたい。
- ・①新潟の産業形態を知ることができた。
- ・②国際人材に関するイベントの存在を知れた。
- ・③日本の国際人材の活用状況がわかった。
- ・今まで知らなかった新潟の良さや企業について知ることができました。
- ・新潟だけでなく日本の地方の企業について調べてみようと思えた。
- ・最後の質問タイムで留学生目線の就活を知れたこと。自分自身も海外就職を選択肢の1つとしているため、国ごとの就活システムの違いを把握しようと思いました。

3.教育効果⑫ 役に立ったこと・今後活用できること

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります。

☆八海醸造様のレクチャーとワークショップ

【外国人留学生】

- The communication skills and sociability are really important when you work in an enterprise. If I want to marketing a product I think it has to enhance own competitive power first.
- ①仕事の英語を学べた。
- ②日本酒の知識を得た。
- ③会社の経営方法を理解できた。
- ④問題解決策を提案するスキルを身に付けた。
- 魚沼の里というところを知って、今後チャンスがあったら、いきたいと思います。
- ①日本酒のことが分かった。
- ②日本企業の経営が分かった。
- ③仕事用の英語が勉強になった。
- ①日本酒の文化や製法などを詳しく紹介された。
- ②英語で会社の営業状況などを紹介する方法を勉強になった。
- ③新潟の代表的な企業として八海山の営業状況が分かった。紹介の中で新潟の魅力も感じられた。
- 酒サムライの〇〇さんが日本酒に興味があるため、わざわざアメリカから新潟の日本酒会社に入って体験することは凄いと思う。私は将来就活する時もいつでも、やりたいことをすると思うようになった。
- ①プレゼンの仕方が非常に素晴らしくて勉強になった。
- ②日本酒の製造過程が分かった。

【日本人学生】

- 甘酒に関して味は好きだが、アメリカではあまり知られていないということ。ビジネスチャンスにもなりうると思う。
- 地方の企業でも、やり方によっては世界を相手に色々なことが出来ることが分かり、とても勉強になった。企業やベンチャー企業、起業を学んでいることもあり、地方創生や地域活性化について、とても興味を持っている。大学としても日本酒学を学問として始めており、色々な分野で地方が活性化していくことは、プラスになると思う。その意味を再認識するよい授業であったと思う。
- 地域に密着している企業がグローバル展開することの難しさや工夫を知ることができたので、今後自分が利用するサービスや物のルーツをできるだけ理解して、購入していきたいと思った。
- 企業を海外に進出するときには直面する課題や、海外に広告する方法は、どんな企業でもほとんど共通していると学んだ。私は、将来起業することを考えているので、海外進出に対する課題の解決方法に生かしていきたい。
- 日本の文化を世界に広めるという仕事は、英語を使う場面が多く自分に向いているかも知れないと気づいたこと。自動車やITなどと違って、日本酒はグローバルな分野ではないと思っていたが、市場が世界にあるため世界との関わりが多く魅力的な仕事だと思った。
- 話し合いのときに、私が出した意見に他の人がアイデアをつけ足してくれて、話し合いの意義を実感できました。新しい考えを出すだけでなく、他の人の意見を発展させてより良いものにする、ということもできるようになりたいです。

3.教育効果⑬ 役に立ったこと・今後活用できること

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります。

☆ hakkai様のレクチャーとワークショップ

【外国人留学生】

- はい。この授業で、精密成形という新しい分野を知ることができた。hakkaiが世界4カ国で異なるニーズをもとに会社を作っていることがわかり、よかった。
- 様々な会社を認識して、現状認識とディスカッション能力は将来的に職場で活用したいです。
- 日系企業に就職する前に、どんな能力を持ったほうがいいのか今回のレクチャーとワークショップを通してわかった。
- 日本の会社がもっと分かるようになった。小さい道具でもとても重要とのこと。
- ある。新しい分野に進もうとすることだ。自分も今後、新しい分野にチャレンジしてみたい。
- はい。ビジネスの場で発表する方法と部品を製造する会社の状況を了解した。今後は今回のレクチャーで学んだ知識を活用して、ビジネスの場でうまく発表したい。そして、将来の仕事を決めるとき、hakkai様の紹介を参考にしたい。
- ①新しい会社を認識した。
②未来に向けて環境に優しい部品を作ることが大切だ。
③hakkaiの部品製造とグローバル化の方向はとてもいいと思う。
 - hakkaiの外国人社員の発表により、hakkaiの外国人社員の仕事状況を着実に了解した。

【日本人学生】

- 単純に八海さんに興味がわいた。製造業に就くのもよいかもしれないと思えた。新潟での企業探しをしてみようと思えた。
- 「社員を育成する」ということはどの企業でも行っていることですが、技能をすべて完璧に伝えることはなかなか難しいとのことのお話をいただきました。私も講義などでプレゼンテーションを行う機会をいただいておりますが、「自分の伝えたいことの全ては伝わらないだろう」という基本を今一度思い出し、聞く人の気持ちになって工夫したいと思います。
- ①世界は刻々と変化していること ②誰も少し先の未来でさえ予測できないということ ③常に考え続けることを意識していきたいと思う
- 精密機械を作るには試行錯誤が必要であることが分かった。また、海外の支店とコンタクトと取る際英語を共通語として使うことが普通だと思っていたが、意思の疎通はそれに限らないということが分かった。新しいアイデアを生み出すときはなるべく多くの人と話し合い、様々な視点から考えたいと思った。
- 海外で働くときなどは、現地の言語を強制的に話す環境に置かれるので、そこまで、不安に感じないということ学んだので、そのような環境に自分を置くことで、勉強に対する集中力や、やる気を維持でき、効率よく学ぶことができるのではないかと考える。また、常に新しい種をまくという姿勢や、強みをほかに生かすという姿勢から、実際に起業する際、活用できると思う。
- hakkai様が扱う製品の可能性を知った。就職活動で企業を調べる際、「どんなアイデアの種が広がりそうか」という社員の一員になった視点で企業を調べようと思った。

4. 今後の予定や課題

☆ 地域と世界をつなぐ産官学連携のレクチャーとワークショップ：

さらに回数を増やして、全国にわたってより幅広い業種のグローバル企業をゲストスピーカーとして招く。

☆ 外国人留学生と日本人学生がともに学べ、成長していく教育方法の模索：

さらに受講生の数を増やして、国際共修や協働学習などによるよりよい教育方法を探り出し、①客観的測定テストBEVIと②受講生・担当教員の主観的評価の両方から、その教育効果を検証していく。

参考文献

- 1.西谷元（2020）「BEVI-jを用いた留学・学習効果の測定：プログラムの質保証・PDCA・教育的介入」、Summer Institute on International Education, Japan (SIIEJ 2020)
- 2.Shealy, C. N. (Ed.). (2016). *Making Sense of Beliefs and Values: Theory, Research, and Practice* New York: Springer Publishing

ご清聴ありがとうございました！
Thank You for Your Attention!

谢谢！

